

昨年の秋から野菜の価格がパットしませんでした。需要と供給のバランスで考えると生産量が多いのか消費量が少なくなったのかと思ひ、調べてみて分かったのですが、日本人一人あたりの一年間の野菜の消費量は、昭和六〇年と比べて平成二二年では約2割減少していました(農林水産省・食糧需給表・平成二二年度)。

また厚生労働省「平成二二年度国民健康・栄養調査」によると日本人の一日の野菜摂取目標量の三五〇グラムにはどの年代も達していませんでした。

以前、トマトの成分のリコピンが抗酸化作用があり生活習慣病の予防にいいと報道されたこととたんに入りました。健康志向の昨今、健康にいいと騒がれると一時的ですが、消費が供給を大きく上回ることで起きてしまうのです。野菜の消費量を増やすには野菜の機能性に着目し、熱心に情報を発信していくことが重要になってくると思います。

最近知ったのですがタキイ種苗は、20年ほど前に健康維持機能を持つ成分を多く含む、なおかつ食味に優れた「機能性野菜」の研究プロジェクトをスタートさせていました。そして研究開発の結果、機能性成分を多く含む新しい野菜品種を育成し、現在品種は10種類以上あります。これらの野菜は色鮮やかです。タキイ種苗以外の会社も様々な色の野菜を商品化しているの、機能性に焦点を当てて紹介すると消費者の野菜に対する関心が高まり、結果として野菜の消費拡大につながっていくかもしれません。

野菜を栽培するうえで、機能性をよく理解し、より機能性を高められる栽培方法や肥培管理を提案していきたいと思ひます。

ファイトリッチ(Phyto Rich)①

ファイトリッチとはタキイ種苗が開発した、機能性成分を多く含んだおいしい健康野菜シリーズの総称です。

- ① 「ファイト」: 植物(=phyto)と闘う(=fight)の2つの意味。
 - ② 「リッチ」: 従来品種よりも機能性成分が豊富(=rich)に含まれる。
- ① + ② = 健康で豊かな食生活を目指すという願いを込めて!

タキイ種苗は野菜の色素成分に着目しそれを大きく5つのグループに大別しました。
 赤(リコピン)、橙(シスリコピン・カロテン)、黄(ケルセチン・ルテイン) 紫(アントシアニン) 白(スルフォラファン・GABA)
 ※色素成分はそれぞれ体内への吸収がされやすい食べ方、期待される効能が異なります。

色	成分	期待される効能	性質・食べ方	品種
赤	リコピン	抗酸化性、免疫強化 動脈硬化予防、美白効果など	脂溶性のため油料理で、またはオールドレッシングと一緒に食べると吸収が良い。	京くれない 千果・CF 千果 フルティカ
橙	シスリコピン	抗酸化性、免疫強化 動脈硬化予防、美白効果など	リコピンよりも体内へ吸収されやすい。 脂溶性のため油料理で、またはオールドレッシングと一緒に食べると吸収が良い。	オレンジクイン 桃太郎ゴールド クックゴールド
	カロテン	抗酸化性、目・気管・皮膚の粘膜の正常化。LDL コレステロールの低下など。	体内で必要に応じてビタミン A に変換される物質。脂溶性のため油料理で、またはオールドレッシングと一緒に食べると吸収が良い。	オレンジ千果 こどもピーマンピー太郎

ファイトリッチ(Phyto Rich)②

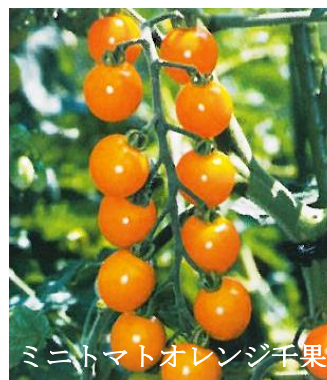
色	成分	期待される効能	性質・食べ方	品種
黄	ケルセチン	血小板凝集の抑制効果(いわゆる血液サラサラ)抗酸化性、動脈硬化予防、糖尿病予防など	ゆでる場合はスープや味噌汁で食べるのがおすすめ。	TTA-735
	ルテイン	抗酸化性、目の機能強化、白内障や加齢黄斑変性症(AMD)のリスク低減など。	脂溶性なので油料理で、またはオイルドレッシングと一緒に食べるのがお勧め	弁天丸
紫	アントシアニン	抗酸化性、動脈硬化予防、炎症を抑える、肝機能障害の軽減作用、目の健康維持など。	紫だけでなく、赤、青と様々な色合いを示す。水溶性のため生で食べるか、ゆでる場合はスープや味噌汁で食べるのがお勧め	紅法師 コーラルリーフフェザー コーラルリーフブルーム
白	スルフォラファン	発がん抑制酵素の誘導、ピロリ菌の減少など	ゆでる場合はスープや味噌汁で食べるのがおすすめ。	
	GABA	精神安定作用、血圧低下作用	水溶性のため生で食べるか、ゆでる場合はスープや味噌汁で食べるのがお勧め	



ニンジン 京くれない



ハクサイ オレンジクイン



ミニトマト オレンジ千果



赤ミズナ 紅法師

農事暦

平成27年農事暦・旧2月

太陽暦	陰暦(旧)	祝祭日	散布	月の名前	海の干満	水分の動きと生育リズム	液肥	追肥	二十四節気	十干	十二支	六輝	種まき忌日	特殊日
3月20日	旧2月1日	金		新月	大潮	水分の動きと生育リズム ↑ 水分の下部へ ↓ 水分の上部へ	液肥	追肥	春分	きのと	ひつじ	友引	x	
3月21日	旧2月2日	土	薬剤散布	新月	大潮					伸長期	葉面散布 N	追肥適期	ひのえ	さる
3月22日	旧2月3日	日	薬剤散布	三日月	中潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	つちのえ				いぬ	大安
3月23日	旧2月4日	月	薬剤散布	三日月	中潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	つちのえ	いぬ	大安
3月24日	旧2月5日	火		上弦の月	中潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				かのを	え	先勝
3月25日	旧2月6日	水		上弦の月	中潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	かのを	うし	友引
3月26日	旧2月7日	木		上弦の月	小潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				みずのえ	とら	先負
3月27日	旧2月8日	金		上弦の月	小潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	みずのえ	とう	伝減
3月28日	旧2月9日	土		上弦の月	小潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				きのえ	たつ	大安
3月29日	旧2月10日	日		上弦の月	長潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	きのと	み	赤口
3月30日	旧2月11日	月		上弦の月	若潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				ひのえ	うま	先勝
3月31日	旧2月12日	火		上弦の月	中潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	ひのと	ひつじ	友引
4月1日	旧2月13日	水		十三夜	中潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				つちのえ	さる	先負
4月2日	旧2月14日	木		十三夜	大潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	つちのえ	さる	先負
4月3日	旧2月15日	金		十三夜	大潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				つちのえ	とら	先勝
4月4日	旧2月16日	土		満月	大潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	かのを	いぬ	大安
4月5日	旧2月17日	日	薬剤散布	満月	大潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				かのを	いぬ	大安
4月6日	旧2月18日	月	薬剤散布	満月	中潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	みずのえ	ね	先勝
4月7日	旧2月19日	火	薬剤散布	満月	中潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				みずのえ	うし	友引
4月8日	旧2月20日	水		満月	中潮				水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	きのえ	とら	先負
4月9日	旧2月21日	木		満月	中潮	水分の上部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				きのと	う	伝減
4月10日	旧2月22日	金		満月	小潮				水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	ひのえ	とら	先勝
4月11日	旧2月23日	土		満月	小潮	水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				ひのと	み	赤口
4月12日	旧2月24日	日		下弦の月	小潮				水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	つちのえ	うま	先勝
4月13日	旧2月25日	月		下弦の月	長潮	水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				つちのえ	ひつじ	友引
4月14日	旧2月26日	火		二六夜	若潮				水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	かのを	さる	先負
4月15日	旧2月27日	水		二六夜	中潮	水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				かのを	とら	伝減
4月16日	旧2月28日	木		二六夜	中潮				水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	みずのえ	いぬ	大安
4月17日	旧2月29日	金		二六夜	大潮	水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期				みずのえ	いぬ	大安
4月18日	旧2月30日	土		二六夜	大潮				水分の下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥適期	きのえ	ね	先勝

春分: 陰暦2月の中で、陽暦では3月20日か21日。この日、太陽黄経は0度となり、昼と夜との時間は等しくなる。この日の中日として前後それぞれ3日、すなわち7日間が春の彼岸である。この日を境に徐々に昼が長くなり、本格的な春が始まる。

清明: 陰暦3月の節で、陽暦の4月4日か5日。「万物ここに至りて皆潔斎にして清明なり」関東から西の地方では桜が見ごろで、南の国からは、そろそろツバメの渡りの便りも届く。

- 1) 小潮から大潮にかけてのリズムが充実期(盛んに吸肥を行い、細胞を増殖する時期)
- 2) 大潮から小潮にかけてのリズムが伸長期(増殖させた細胞を伸長させる時期)